合計額 (①、②のいずれか)

社会福祉充実残額算定シート 1. 「活用可能な財産の算定」 金額 手入力(必須入力)するセルです(※「社会福祉法人の財務諸表等電子開示システム」搭載版では、他シートを参照するための計算式が設定されていますので、手入力は不要となります。) 資産 (a) 負債 (b) 計算式が設定されており、入力することはできません。 基本金 (c) 国庫補助金等特別積立金 (d) 手入力するセルです。(不明の場合は、記載要領に従って入力してください) 213,290,702 合計 (a-b-c-d) 合計額を算出するための計算式が設定されており、入力することはできません。 2.「社会福祉法に基づく事業に活用している不動産等」 プルダウンリストから選択するセルです。直接入力することはできません。 (1)財産目録における貸借対照表価額 合計 (a) (2)対応負債 項目 1年以内返済予定設備資金借入金 1年以内返済予定リース債務 設備資金借入金 リース債務 合計 (b) (3) 合計 項目 金額 財産目録合計(a) 対応負債合計(b) 対応基本金(c) 国庫補助金等特別積立金(d) 合計 (a – b – c – d) 3.「再取得に必要な財産」 (1) 将来の建替費用 (2) 大規模修繕に必要な費用 建設単価等上昇率 自己資金比率 ※大規模修繕額が不明な場合 一般的大規模修繕 費用比率 建設時延べ床価積 (小数点以下第4位 を四捨五入) 建設時自己資金 大規模修繕実績額 減価償却累計額 ② 1 ㎡当たり単価上昇率 ④建設時自己資金比率 合計額② ((a×b) × c/(a+c)) 減価償却累計額 貸借対照表価額 財産の名称等 取得年度 ①建設工事費 デフレーター ①、②のいずれか 高い方の率 ③、④のいずれか 高い方の率 合計額 大規模修繕実績額 合計額① 一般的 1 m 当たり 当該建物の建設時の 建設時延べ床 単価 (a) 取得価額 (b) 面積 (c) 建設時自己資金 a/ (b/c) d/b 佐伯事務所(廿日市市津田4109番地) (3) 設備・車輌等の更新に必要な費用 合計 25,865,457 (4) 合計 項目 将来の建替費用 大規模修繕に必要な費用 設備・車輌等の更新に必要な費用

4.	「必要な運転資金」

項目	金額		月数	合計額
年間事業活動支出	345,522,093	12	3	86,380,523

5.「計算の特例」

項目	金額		月数	合計額
年間事業活動支出	345,522,093	12	12	345,522,093

6.「社会福祉充実残額」

項目	金額	控除対象財産計	計算の特例適用
活用可能な財産	213,290,702		
社会福祉法に基づく事業に活用している不動産等	162,187,247		※「5. 計算の特例」の適用有無を
再取得に必要な財産	0		例」の週用有無を 変更する場合、以
必要な運転資金	0	307,709,340	下のセルから選択す
計算の特例	345,522,093		ること。
合計	-294,410,000		適用する

7. 「現況報告書に記載する「社会福祉充実残額」」

項目	金額
社会福祉充実残額	-294,410,00
社会福祉充実計画用財産	
合計	-294,410,00

1/1